



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

11月9日

No95

文責 本田

心かがやけ月間のお話から 自分ができることから取り組もう

11月は心かがやけ月間です。心かがやけ月間は熊本市全体で取り組んでいるもので、子どもたちの心の教育を推進するために毎年設定されています。その一環として本校では今月初めに全校児童が参加して挨拶運動を行ったところです。まずは挨拶からということですが、道徳時間だけでなく各教科、生活科・総合的な学習の時間で学んでいることを生かして五福小みんなの心をかがやかせるために、自分で何ができるかを考えてほしいと思っています。今日は全校朝会で、例えば、お友達に親切にすることだったり、命や自然を大切にすることだったり、思いやりを持った行動をすることだったり、自分でできるところから始めましょうというお話をしました。学年が上がるに従って、友だちやクラスのためにと視野を広げて、学校や地域のためにできることを考え主体的に行動できたら素晴らしいですね。

五福小みんなの心をかがやかせるには



今、道徳の時間は、教師の一方的な説話ではなく「みんなで考え議論する道徳」に取り組んでいます。



五福小みんなの心がかがやくように

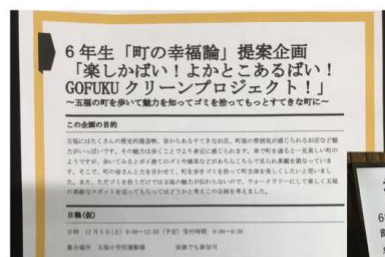
ともだちと協力したらできること

自分でちょっとがんばったらできること

じぶんができることから始めよう

6年生 町の幸福論 企画提案プロジェクト

6年生は、「町の幸福論」を実現するために自分たちで何ができるかを考えて提案できるように準備を進めています。現在、考えたことを実行に移すにはどうすればいいかを考えているところです。もし、子どもたちが相談にきたらアドバイス、ご協力をよろしくお願いします。



じぶんたちもまわりの人も

Win-Winに

